

2013年9月9日

欧州でウレタンフォームに替わるクッション材 「ブレスエアー®」を生産開始

当社のグループ会社である東洋紡ヨーロッパ（有）（本社：ドイツ・デュッセルドルフ）が欧州に新設した「ブレスエアー®」生産工場（ドイツ・バイエルン州・オーベルンブルグ）では、9月6日に開所式を終え、本格的に生産を開始しました。

1. 「ブレスエアー®」生産工場について

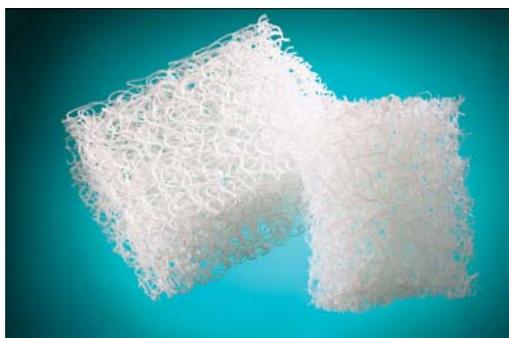
工場名 : 東洋紡ヨーロッパ（有）オーベルンブルグ工場
生産能力 : 1,100トン/年
総投資額 : 約7億円

2. 「ブレスエアー®」について

「ブレスエアー®」は、当社の熱可塑性ポリエステル系エラストマー「ペルプレレン®」を繊維状にして複雑に組み合わせた三次元スプリング構造体です。軽量・高反発で耐久性や通気性に優れ、ウレタンフォームに替わるクッション材として寝具マットや座席シートなどに広く採用されています。

3. 今後の予定

環境意識の高い欧州市場にて家具用途での販売をはじめ、医療用マットレス、ボート、自動車や鉄道向けシートなどの用途展開を行い「ブレスエアー®」事業の拡大を図ります。



「ブレスエアー®」



オーベルンブルグ工場開所式

この件に関するお問い合わせ先
東洋紡株式会社 広報室
電話：06-6348-4210

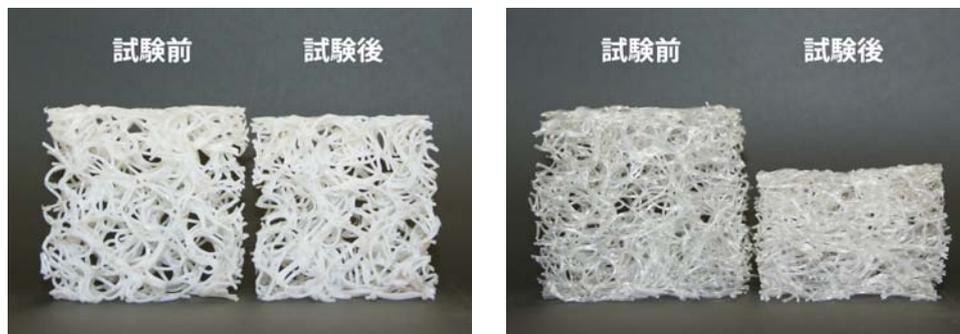
(ご参考)

■「ブレスエアー®」の概要

1996年に量産を開始し、ウレタンフォームに替わるクッション材として、高い耐久性が要求される新幹線N700系をはじめとする各鉄道車両シートや自動二輪のシートに採用されています。また、「ブレスエアー®」を使用した敷布団やマットは、寝心地が良く、ムレにくく寝返りがうちやすい上、丸洗いできるという特長があり、病院や介護の分野でも広く採用されています。

<耐久性に優れた「ブレスエアー®」>

その秘密は、ゴムとエンジニアリングプラスチックの両方の特性を持ち、耐久性と加工性に優れた「ペルプレン®」にあります。特許取得済みの特殊な製造方法により、ポリエチレン原料を使った場合に比べて、優れた耐久性を実現しています。



「ブレスエアー®」

ポリエチレン原料を使った網状構造体

圧縮試験の結果、「ペルプレン®」で作られた「ブレスエアー®」(写真左)は厚さがほとんど低下しませんが、ポリエチレンの網状構造体(写真右)は厚みが保持されず40%ほど厚さが低下します。

※試験条件：JIS K 6400-4 圧縮残留ひずみ試験(試験片をその厚さの50%に圧縮し、70℃のオープンで22時間加熱圧縮した後、元の厚さに対する低下率を求める試験)

■東洋紡ヨーロッパ有限会社 (TOYOBO Europe GmbH) の概要

代表者： 横田 宜久

事業内容： 欧州地域における当社グループ事業の統括
フィルム・機能樹脂、産業マテリアル、ライフサイエンス、衣料繊維などの製造、加工、販売

所在地： Klosterstrasse 18, 40211 Dusseldorf, GERMANY

株主構成： 東洋紡株式会社 100%